

まちづくりチャレンジ協働事業報告書

協働事業の名称	桜並木保存管理事業（松園線通り桜並木生育状況調査）		
団体名	恵庭一万本桜植樹市民の会・ 松園地区振興会	実施場所	松園線通り 南島松南24号～南21号
担当課	建設部 管理課		

協働事業の実施状況 ※いつ、どこで、なにを、どうしたか記入してください。	2021年7月17日～9月30日の期間において松園線通りの桜並木の樹木育成状況調査を実施した。調査は恵庭市建設部管理課との協議に基づき、専門業者に委託し、実施した。本調査に基づき、今後の維持管理計画について恵庭市と協議を進めている。
協働事業の成果 ・事業内容の成果 ・協働で取り組んだことの効果等	団体の成果 将来にわたる維持管理計画（管理手法、捕植計画等並木形成維持のために必要な業務、経費）を組立て、地域組織として連携した活動体制の基礎づくりができた。
	担当課の成果 市民団体の協力のもと、将来にわたる維持管理計画が構築されたことにより、具体的な支援協力の方向性が確認された。
協働事業の実施時における役割分担	団体の役割 交付申請及び実績報告書の作成、今後の維持管理計画の作成
	担当課の役割 調査業務を行う事業者との協議、振興会代表者との協議・調整、調査実施における地域及び関係者への周知
次年度以降の見通しと課題	団体として 維持管理計画を作成し、維持管理体制等を具体化する。
	担当課として 維持管理を行う団体への協力の方法を継続して検討
	共通して 将来にわたり、協働体制が継続できるよう具体的なシステムづくりが必要となってくる。

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

* 自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

4…できた（非常にあった）

3…概ねできた（あった）

2…あまりできなかった（あまりなかった）

1…ほとんどできなかった（ほとんどなかった）

項目	評価者	評価	1や2の場合、その理由
課題や目的を共有することができたか	団体	4	
	担当課	4	
目的は達成できたか	団体	4	
	担当課	4	
計画どおり進めることができたか (事業費、実施体制、自主自立性等)	団体	4	
	担当課	4	
市民ニーズは反映されたか (不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等)	団体	4	
	担当課	4	
互いの役割分担はしっかりできたか	団体	4	
	担当課	4	
協働で事業実施をした効果があったか	団体	4	
	担当課	4	

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称：桜並木保存管理事業（松園線通り桜並木生育状況調査）

1 収入

(単位：円)

項 目	金 額		説 明 (積算等)
	予算	決算	
まちづくりチャレンジ協働事業補助金	150,000	149,600	松園線通り桜並木育成状況調査
合 計	150,000	149,600	

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額		説 明 (積算等)
	予算	決算	
育成状況調査委託料	150,000	149,600	松園線通り桜並木育成状況調査業務委託料
合 計	150,000	149,600	

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。

松園通桜並木育成状況調査

調査日 令和3年7月～9月

樹木医 黒崎暁子

機械診断総監 北海道立総合研究機構
林業試験場 脇田陽一

木にナンバリングをした番号。
伐採対象は色がついています。

高さ1.2mの所で測っていますが、
そこに枝などがある場合はその
下を測っています。

No. 200	樹種名 エゾノナクラ
高さ H=7m	幹周 C=57cm
植栽環境：造成、雑草地（街路）	管理状況：芯の部分に腐食あり
樹形：偏り有、ひこばえ多い	樹勢：弱い
根：確認不可	葉：乾燥
枝の様子：張りは良いとは言えない	病気、菌：過去
欠損の有無：下部から南側に欠損有	THC：必要なし

機械診断結果です。円形状のものし
か診断できません。図る場所に傷が
多い場合、または、幹回りが30cm以
下は測れません。測った高さを記載
しています。

特記：枯れはしないが、角地のため植え替えを検討してもよい。

写真

管理上のアドバイスなどを記載し
ています。



写真は、木の全景と気になった場所を
撮っています。

機械診断について

機械は、Tree Health checkerを使用しました。この機器は内部に異常があった
場合を知らせます。評価は5段階で、ABCDEで表示されます。

- A・・・内部に10%未満の異常あり
- B・・・内部に10%以上、50%未満で異常あり
- C・・・内部に50%以上の異常あり（通常の調査では経過観察対象）
- D・・・内部に50%以上の異常あり（通常の調査では伐採対象）
- E・・・内部に50%以上の異常あり（見た目でも枯れが判断できるもの）



No. 200	樹種名 エゾヤマザクラ	No. 201	樹種名 エゾヤマザクラ
高さ H=7m	幹周 C=57cm	高さ H=5m	幹周 C=116cm
植栽環境：造成、雑草地（街路）	管理状況：芯の部分に剪定あり	植栽環境：造成、雑草地（街路）	管理状況：芯伐採、太枝も芯止めあり
樹形：偏り有、ひこばえ多い	樹勢：弱い	樹形：不良	樹勢：弱い
根：確認不可	葉：乾燥	根：確認不可	葉：小
枝の様子：張りは良いとは言えない	病気、菌：過去に胴枯れ病の痕	枝の様子：芯の更新が見られるが、乏しい	病気、菌：胴枯れ病、子実体あり（シロサルノコシカケ）
欠損の有無：下部から南側に欠損有	THC：必要なし	欠損の有無：株元から高さ1.5mのところ	THC：必要なし
特記：枯れはしないが、角地のため植え替えを検討してもよい。		特記：伐採もしくは、植え替え検討。	

写真



写真



No. 202	樹種名 エゾヤマザクラ	No. 203	樹種名 エゾヤマザクラ
高さ H=5m	幹周 C=5m	高さ H=6.5m	幹周 C=54cm
植栽環境：造成、雑草地（街路） m南側に拵	管理状況：下枝の太枝剪定有	植栽環境：造成、雑草地（街路）	管理状況：二脚鳥居支柱あり
樹形：不良	樹勢：弱い	樹形：良好	樹勢：良好
根：確認不可	葉：普通	根：確認不可	葉：乾燥していて先端にむかって小
枝の様子：新芽の出が少ない	病気、菌：こぶ病、コスカシバ	枝の様子：均一に伸長している	病気、菌：胴枯れ病、コスカシバ
欠損の有無：なし	THC：検測H=80cm 判定A	欠損の有無：なし	THC：検測H=120cm 判定B
特記：芯の枝葉の調子が悪い。剪定枝の切り戻し作業を行う方がよい。		特記：	
写真		写真	

作業優先順位ランク

3段階評価

No.	ランク	伐採検討	要観察	No.	ランク	伐採検討	要観察
200	1	○	○	230	3		
201	1	○	○	231	3		
202	1	○	○	232	1	○	○
203	3			233	2		○
204	3			234	3		
205	2		○	235	2		○
206	2			236	3		
207	3			237	2		
208	3			238	3		
209	3			239	3		
210	3			240	2		○
211	1	○		241	2		○
212	2			242	2		○
213	1	○	○	243	2		○
214	1	○	○	244	3		
215	2		○	245	1	○	○
216	2		○	246	1	○	○
217	1	○	○	247	1	○	○
218	2			248	2		○
219	1	○	○	249	2		○
220	1	○	○	250	2		○
221	3			251	2		○
222	3			252	3		
223	3			253	2		
224	3			254	2		○
225	3			255	2		
226	3			256	3		
227	1	○		257	2		○
228	1	○	○	258	2		○
229	3			259	3		

No.	ランク	伐採検討	要観察	No.	ランク	伐採検討	要観察
260	1	○		290	3		
261	2			291	3		
262	1	○		292	3		
263	3			293	3		
264	3			294	1	○	○
265	2		○	295	2		
266	2		○	296	2	○	
267	1	○		297	2		○
268	1	○	○	298	3		
269	3			299	3		
270	3			300	3		
271	3			301	1	○	
272	3			302	2		○
273	2		○	303	2		○
274	3			304	2		○
275	3						
276	2		○				
277	1	○	○				
278	2		○				
279	1	○	○				
280	2						
281	1	○	○				
282	2		○				
283	3						
284	3		○				
285	3						
286	3						
287	1	○	○				
288	2						
289	2	○	○				

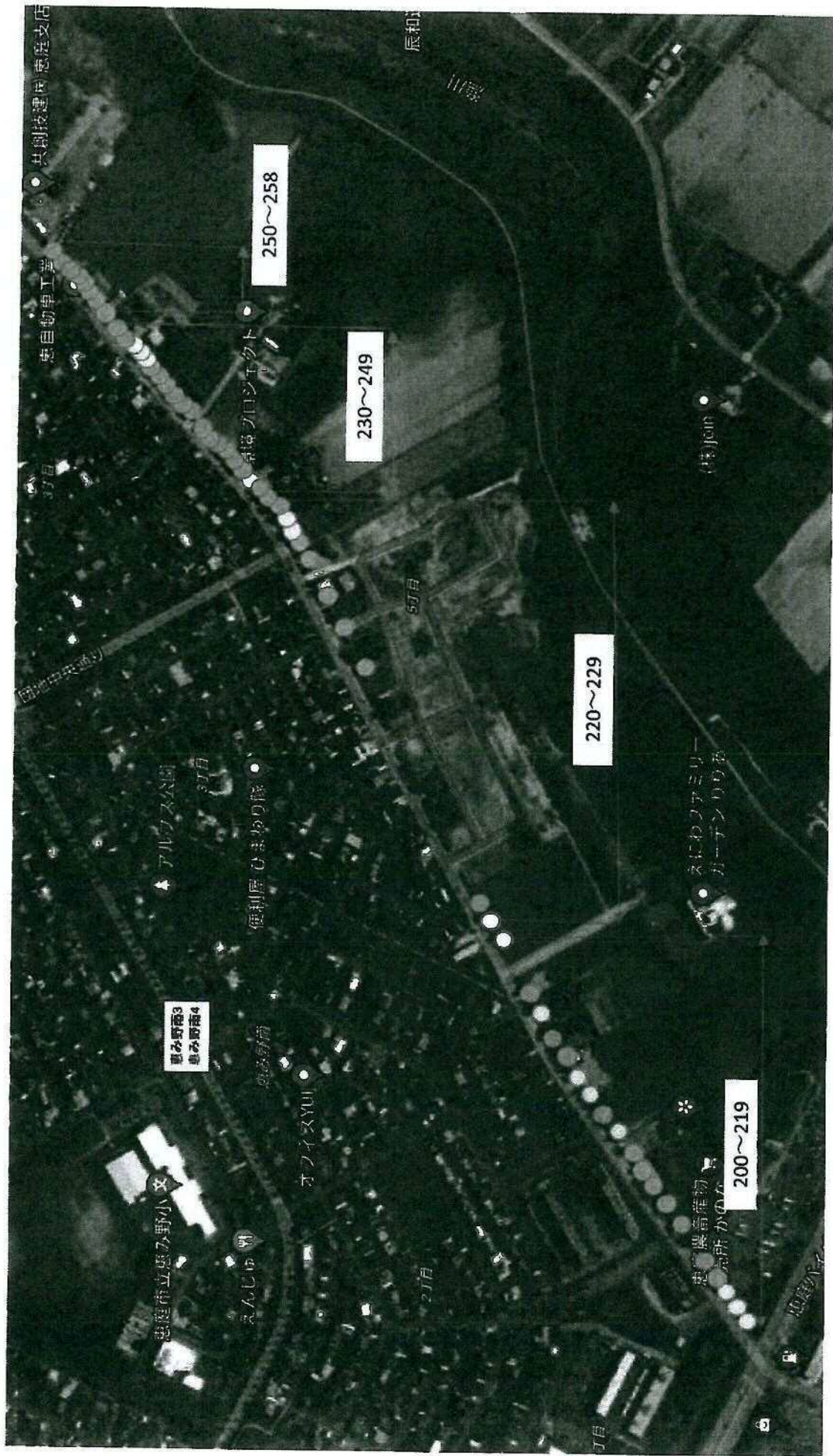
計

1

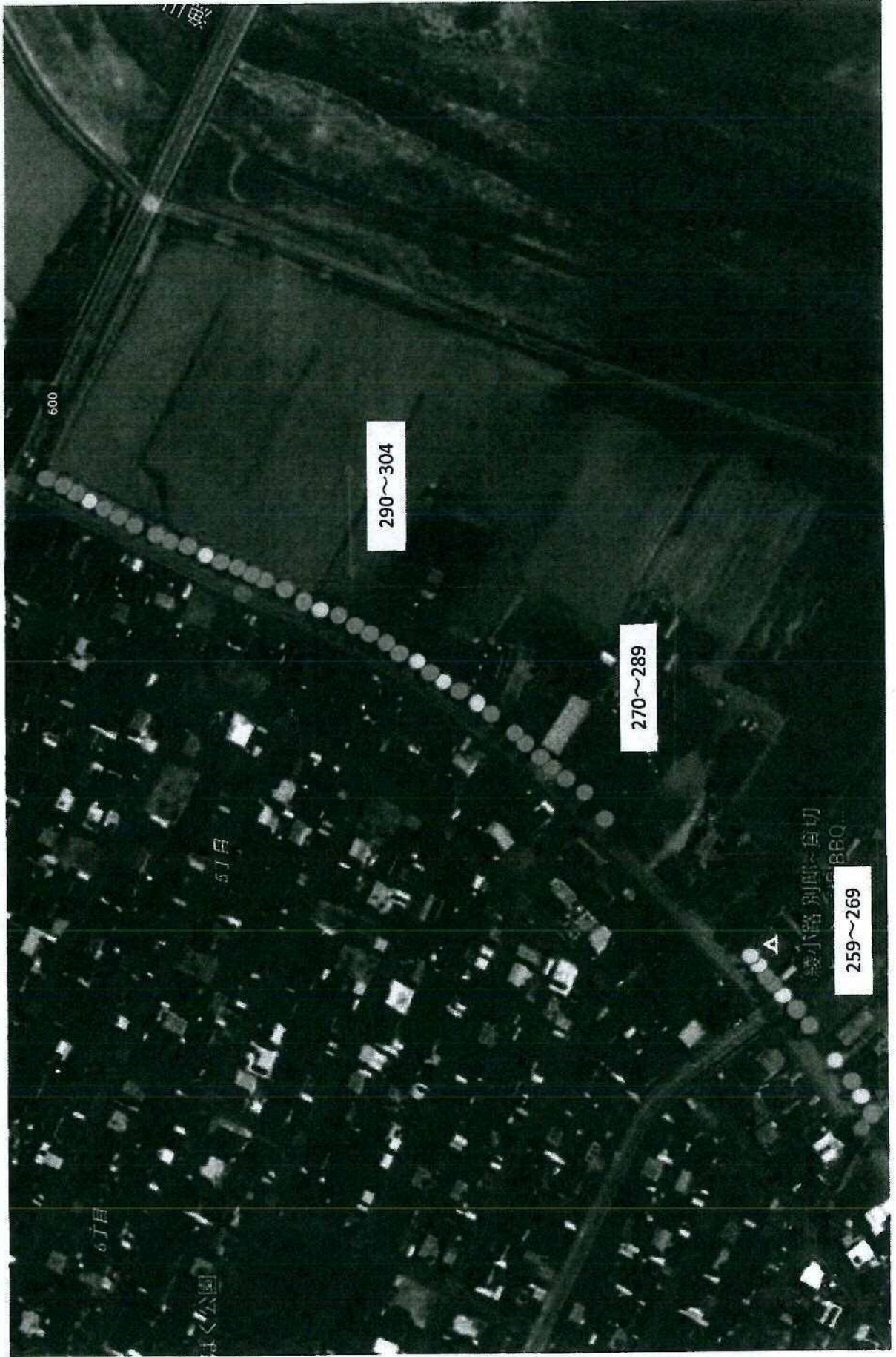
25本

松園線桜位置図

200～258



259~303



病害虫

胴枯れ病 (Valsa ambiens)

糸状菌の一種。凍霜害やコスカシバの被害に伴って発生する。胞子は雨の後に空中に射出され、空気伝染をする。柄胞子は、樹皮に巻き上げ状粘塊となって押し出され、雨に溶けて流下し、雨のしぶきで飛散。また、昆虫、鳥の脚に付着して伝染する。

太枝や幹の分岐部に発生し、はじめ樹皮の一部が盛り上がり、内部は褐色に腐敗。のちに乾燥して陥没する。患部は冬を越して翌春に急速に広がる。樹木が若いうちや、元気なうちは、夏に融合組織を生じてがんしゅ状を呈するが、衰弱木では、患部が枝幹を一周して上部がしおれる。



てんぐす病 (Taphrina wiesneri)

糸状菌の一種。胞子は雨水に混じって分散する。新芽組織から侵入した病原菌が組織中で越冬し、翌春に症状が出る。空中湿度の高い環境で発生しやすい。

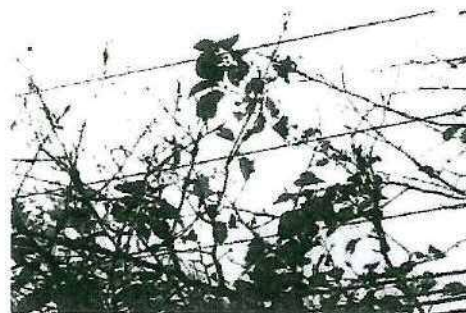
枝に発生し、小枝がほうき状に伸長する。年々大きくなり、いわゆる天狗の巣のようになる。この枝に花はつかない。放置すると木が衰弱していく。罹病枝を切り落とすことで、止めることができる。



こぶ病

病原菌等、不明な点が多い病気。この病気にかかると周囲のサクラにも同じ症状がみられるようになる。こぶが広がると、花付きが悪くなり、いずれ枝が枯れる。

小枝にこぶができる。こまめに罹病した枝を切る。



幼果菌核病 (Mnilinia kusanoi)

糸状菌の一種。落下した実の中で越冬し、春先に伝染する。

果実の柄が褐色に変色して細くなり、果実も褐色になり、しわが出で白粉状物に覆われる。

病果はミイラ化して地上に落ちる。



コスカシバ、モンクロシャチホコ

コスカシバは幼虫の間、幹に穴を開け、樹液を吸う。ゼリー状の樹液の塊がある所に潜伏し、やがて出ていく。

モンクロシャチホコは、チャチホコガの幼虫。夏に葉を食害する。夏から秋にかけて桜の葉が坊主になるのはこの虫のせい。



コスカシバ



モンクロシャチホコ

菌について

コフキタケ：

白色腐朽菌。白色腐朽菌とは木材を白色化し、材をもろくします。コフキタケは、辺材腐朽菌で枯れた場所に菌糸を伸ばすので問題ありません。が、材にもろい部分が出てくることも同時に予測しておかなければなりません。

カワラタケ：

褐色腐朽菌で成長は遅いが、いろんなところに侵入します。桜が弱ってきていることは間違いありません。

クロサルノコシカケ：

褐色腐朽菌。心材腐朽菌ですが、成長が遅い。褐色腐朽菌なのでこれで木が倒れたりはありません。

プンクタータ：

腐朽菌ですが、詳細はない。ただ侵入しても侵攻を止められず、木が弱る。

総評

エゾヤマザクラとカスミザクラの2種類がありました。この2つは互いに非常に混ざりやすいです。カスミザクラのほうが、開花が少し遅くなります。

サクラは、近年植えられたものから、樹齢100年近いサクラもありました。桜並木として個人が管理するには、少し木が大きいといったところでしょうか。

松園通りのサクラは、管理場所によって、生育の差がはっきりと出ていました。生育のよいサクラは、土壤環境が良く、手入れも行き届いているように感じました。

漁川方面の枝葉の調子が、全体的に悪いようで、これは風害であると予測されます。また、サクラの枝の間に電線が通っていて、管理上で支障枝剪定をされており、それによって多くのサクラが、樹形が崩れてしまっています。

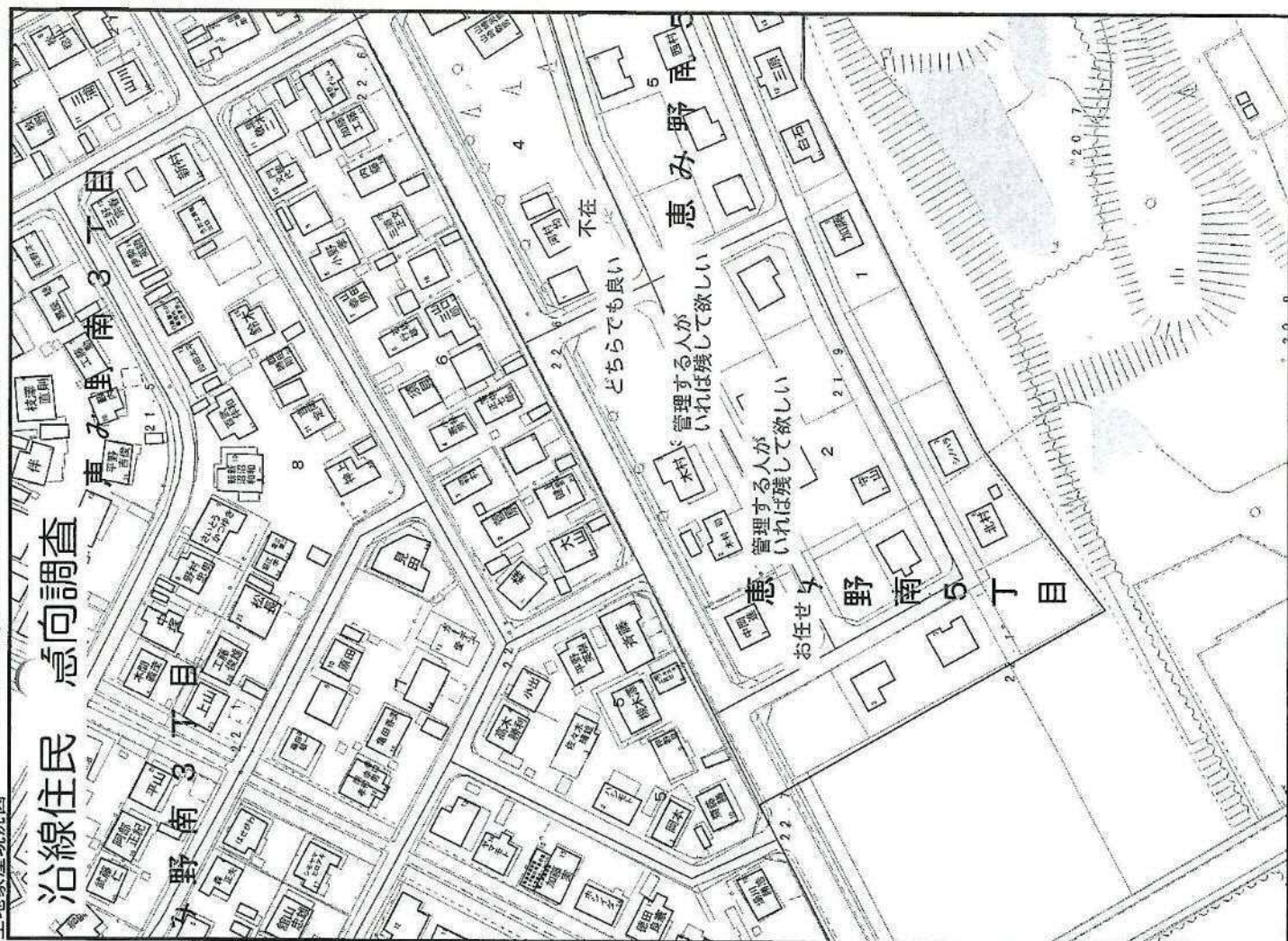
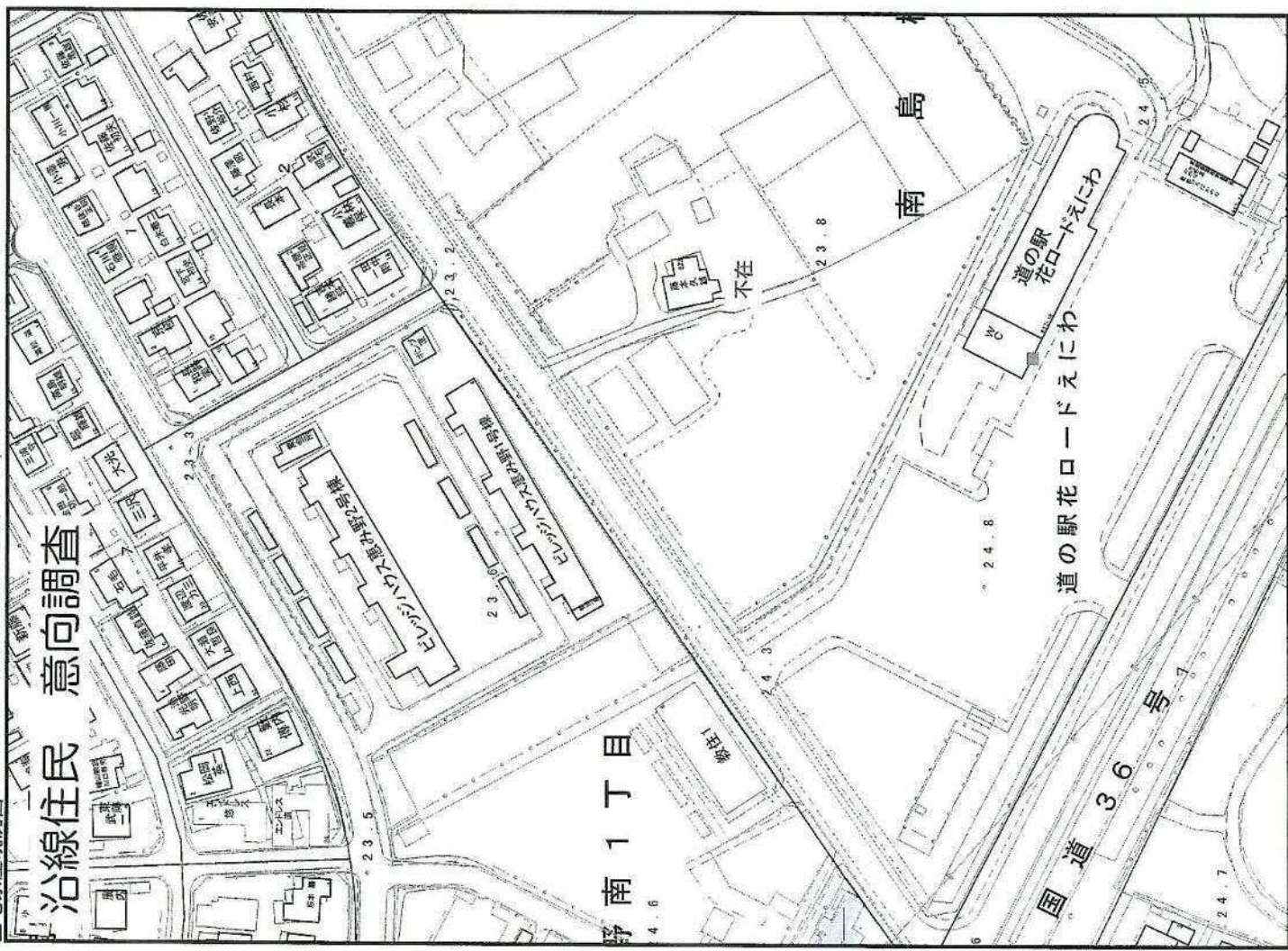
今回の調査では、2割を超えるサクラを伐採検討とさせていただきました。その他の桜も大多数が、胴枯れ病になっていました。これは北の桜の宿命に近く、道内でもほとんどのところで、罹病しています。樹種によって強いものもありますが、胴枯れ病、こぶ病を防ぐために、細かい剪定、枝折れ後の処置が大切になります。また、剪定をする側は、道具の消毒を行う、傷をつけないように作業を行うなど気を付けながら行わなければなりません。適正な管理を行えば、永くサクラを楽しむことができますが、管理側、作業側の技術を必要とするため、日本中どこもかしこも頭を悩ます案件となっています。ただ、桜は切ってはいけないなど、無管理という概念があるため、剪定作業を避けがちで、やったとしても最低限の作業しか行わないとする考えが多くありますが、必ずしもそうではありません。

桜並木を維持していくためには、見れる人を増やすことが重要な課題となると思います。今後も定期的に、見ること、人材を育成すること、意思を確認しあうこと、行動を起こすことを続けてください。

桜の木はどうしても人の想いというものが乗りやすくあります。個人の持ち物に関しては、私の診断結果だけにこだわらず、持ち主の方のご意向を反映した形で管理をお願いいたします。

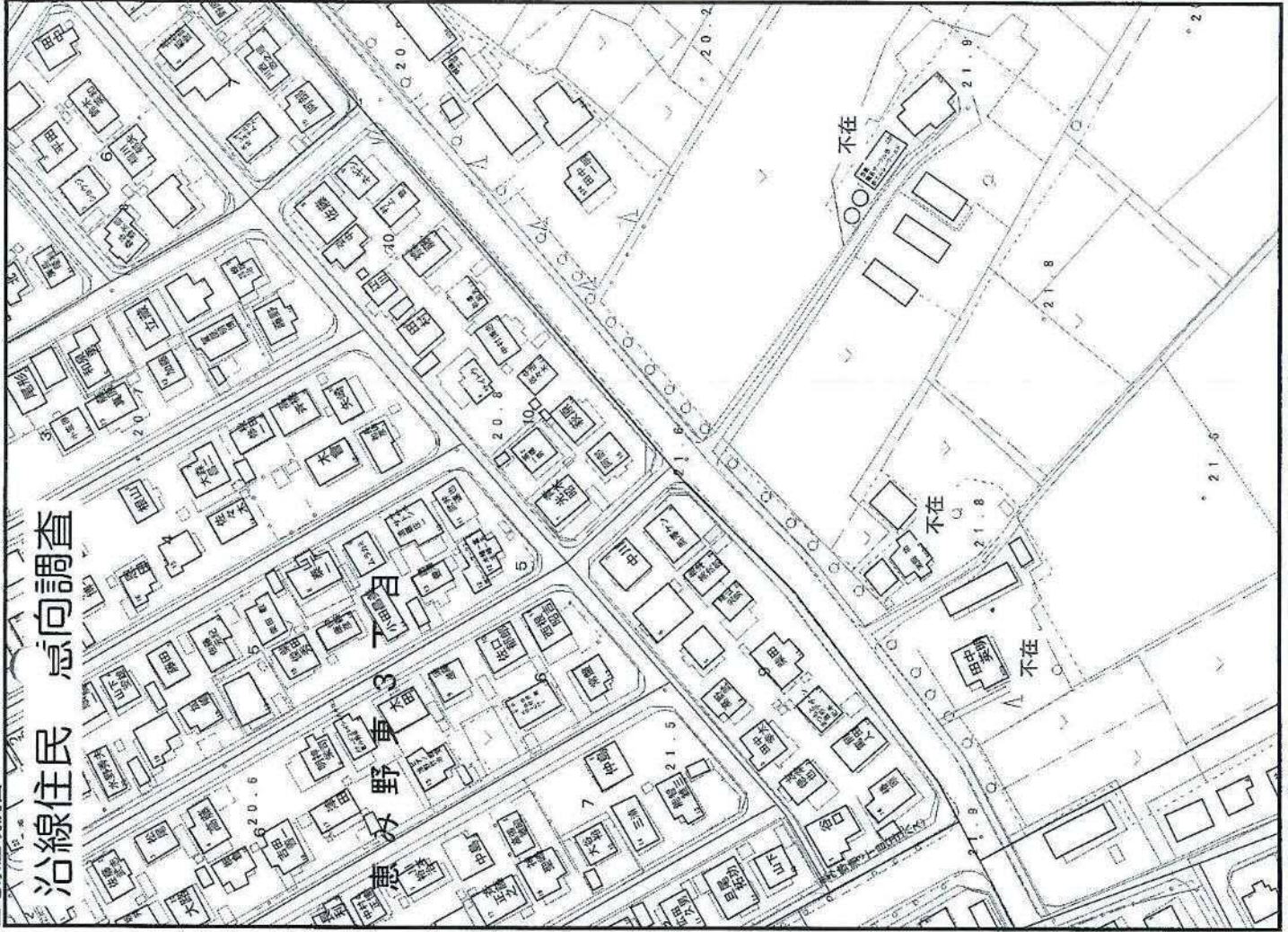
沿線住民 意向調査

沿線住民 意向調査



沿線住民 意向調査

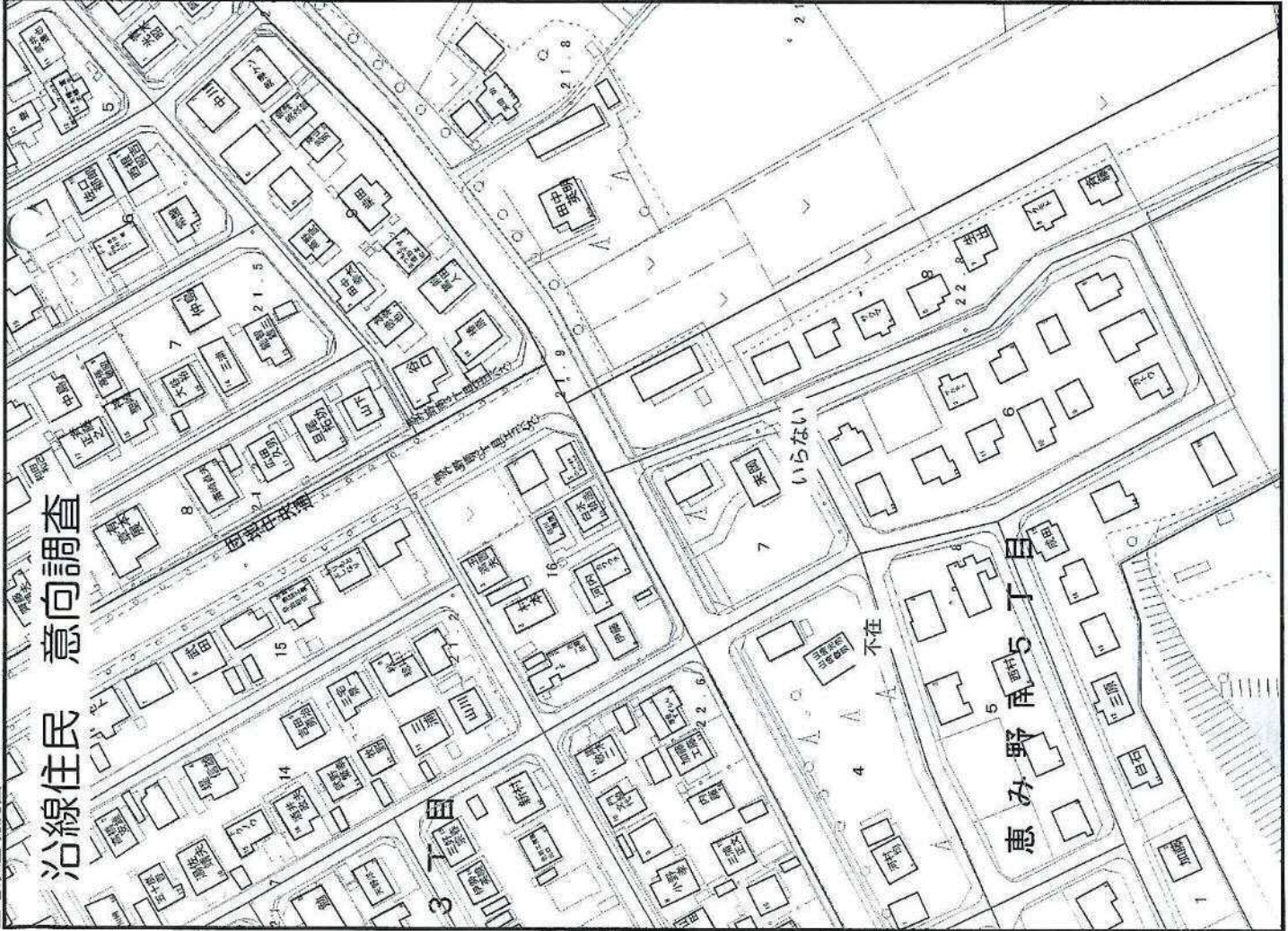
恵み野南3丁目



印刷日: 令和03年7月8日 縮尺 1:1283
 この図面は位置的なものを示すものであり
 権利関係には使用できません。
 恵庭市

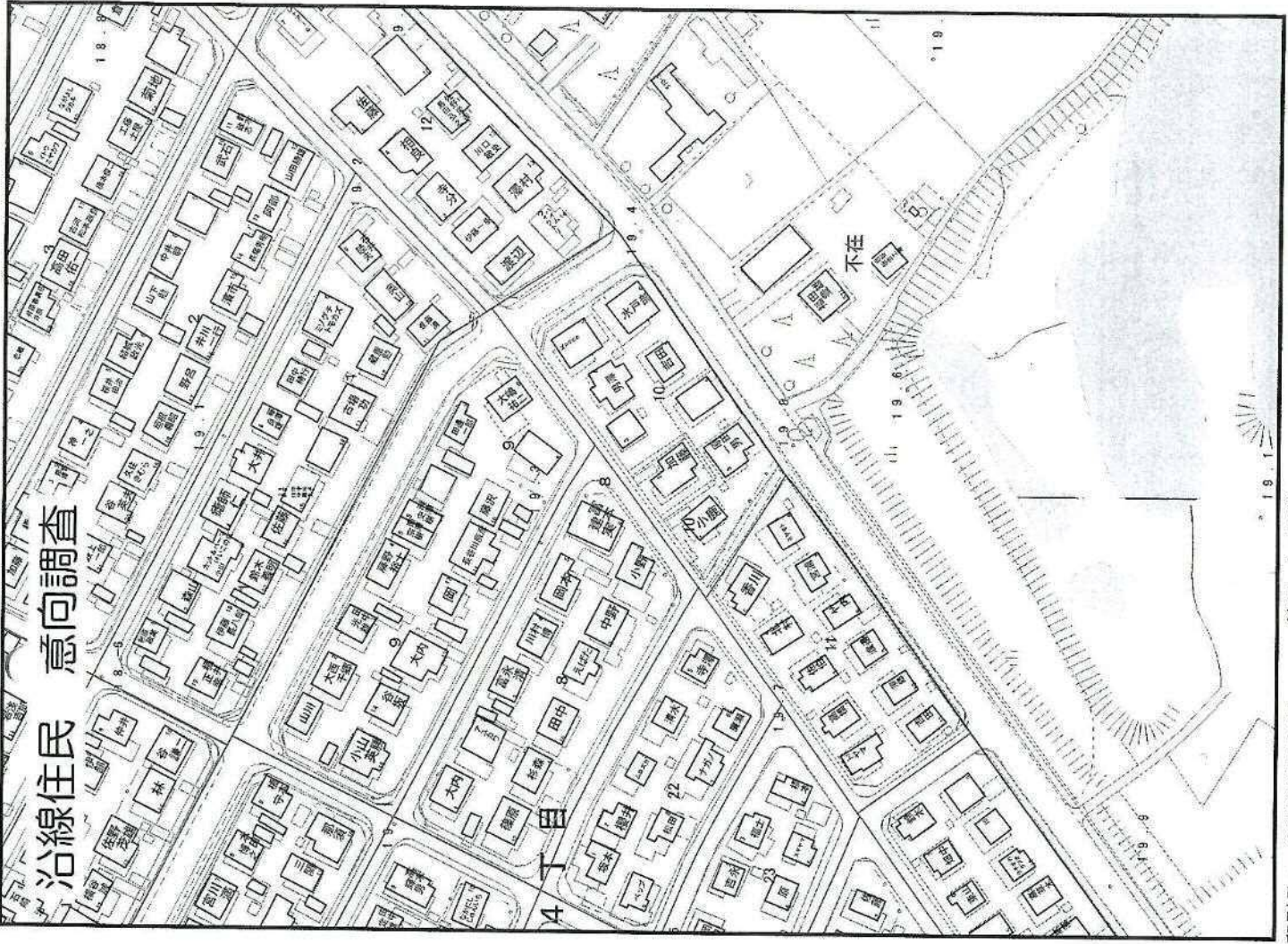
沿線住民 意向調査

恵み野南5丁目



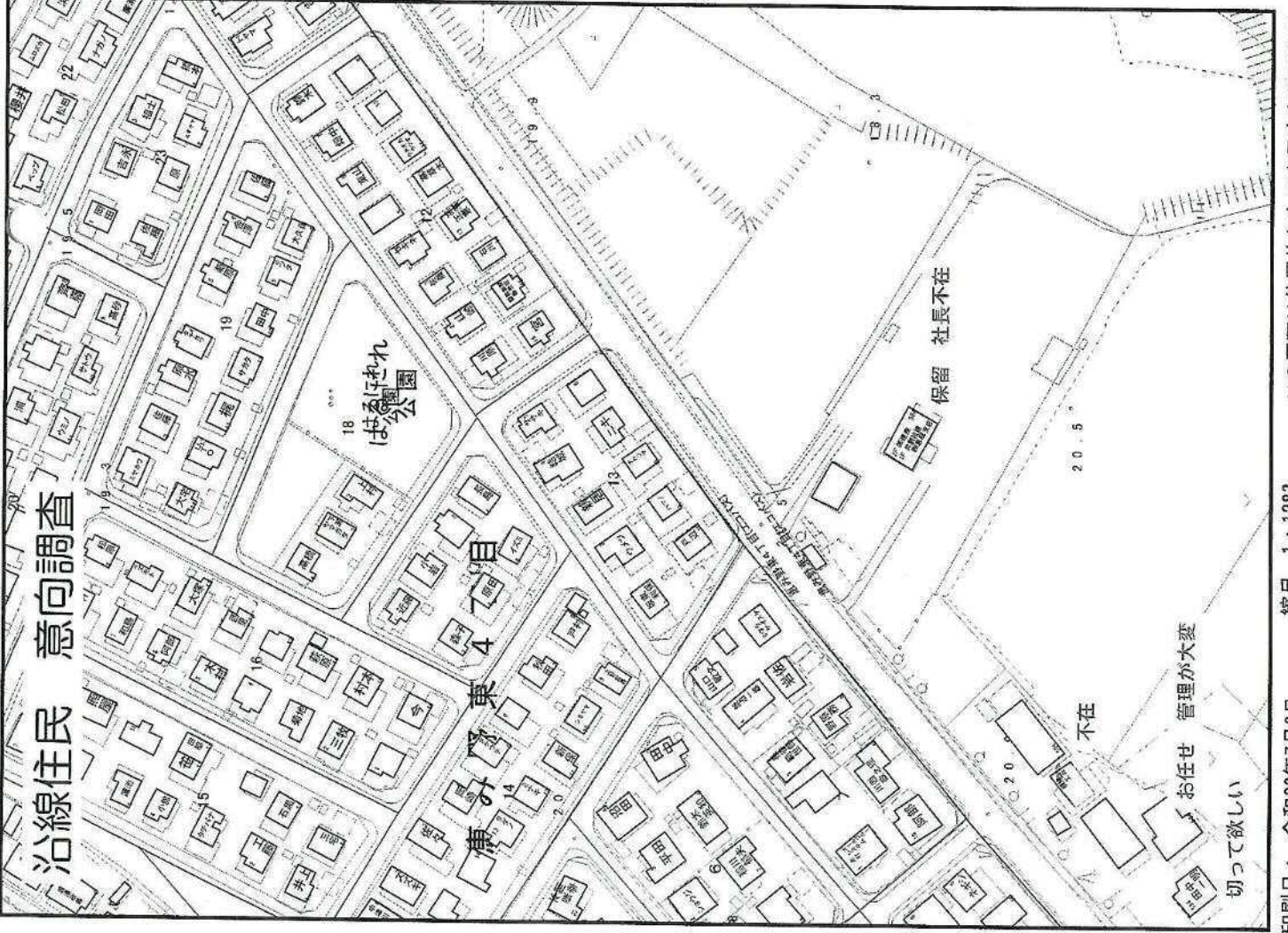
印刷日: 令和03年7月8日 縮尺 1:1283
 この図面は位置的なものを示すものであり
 権利関係には使用できません。
 恵庭市

沿線住民 意向調査



印刷日： 令和03年7月8日
 縮尺 1：1283
 0 5 0 10 20 30 40 50 60
 この図面は位置的なものを示すものであり
 権利関係には使用できません。
 恵庭市

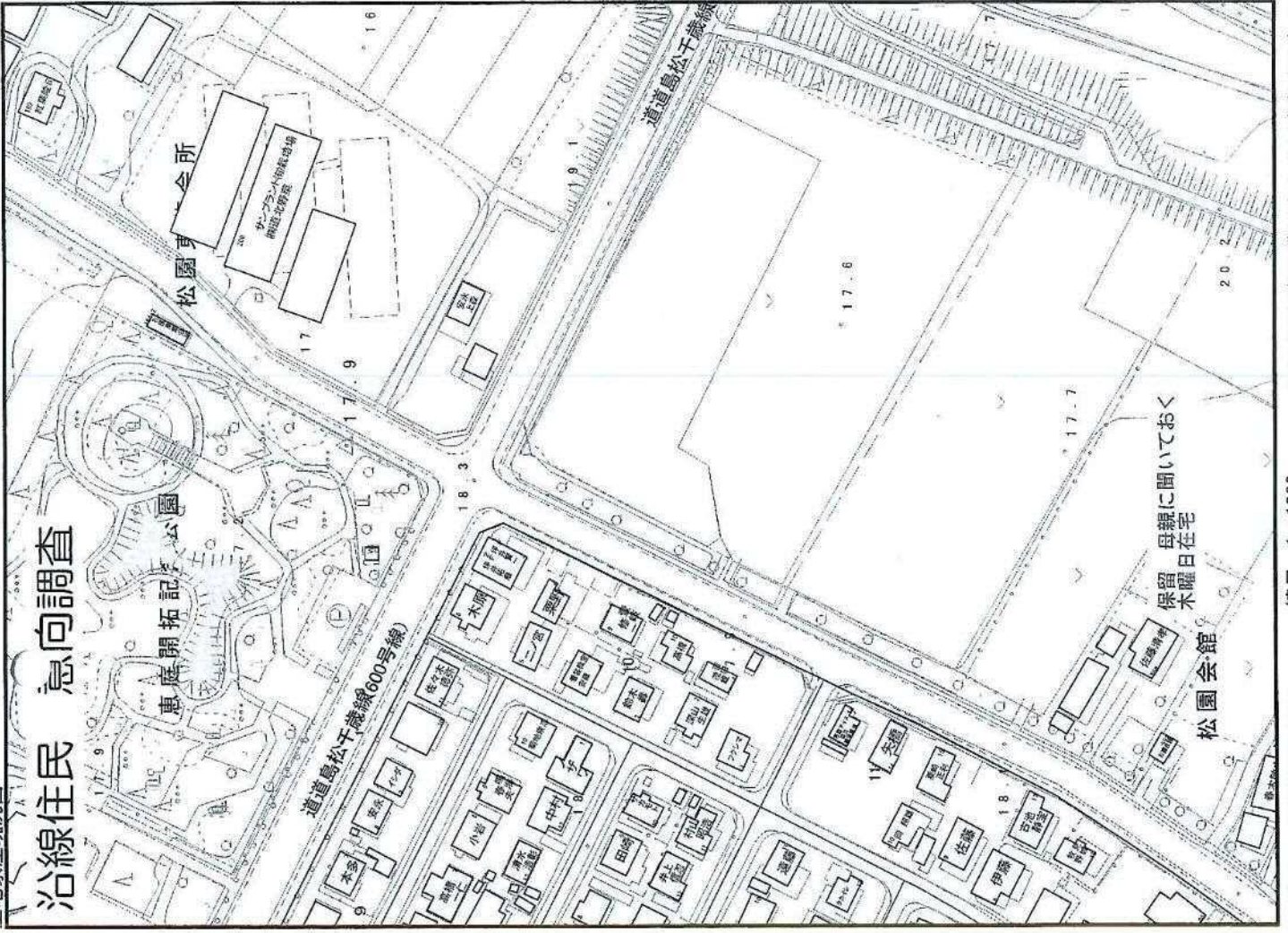
沿線住民 意向調査



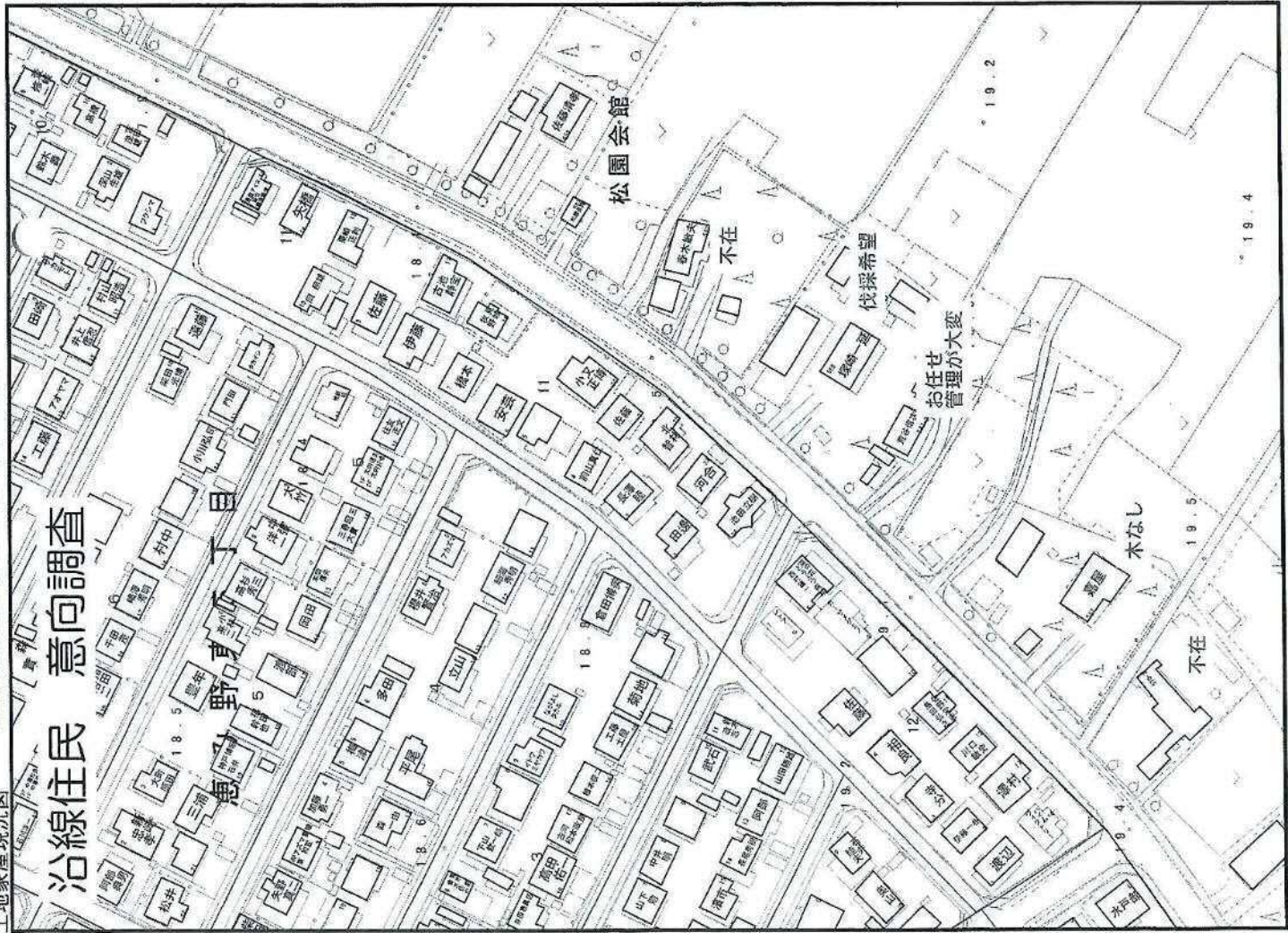
印刷日： 令和03年7月8日
 縮尺 1：1283
 0 5 0 10 20 30 40 50 60
 この図面は位置的なものを示すものであり
 権利関係には使用できません。
 恵庭市

お任せ 管理が大変
 切って欲しい

沿線住民 意向調査



沿線住民 意向調査



令和3年7月9日

関係住民各位

恵庭市建設部管理課

樹木診断調査（松園線）のお知らせについて

平素皆様には、市政の執行についてご協力とご理解を頂き誠にありがとうございます。

この度下記のとおり、恵庭一万本桜植樹市民の会・松園地区振興会と連携し樹木診断調査を実施することとなりました。調査期間中は何かとご迷惑をおかけすることと存じますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

調査場所	恵庭市南島松（松園線）	（裏面のとおり）
調査期間	自 令和3年7月17日	から
	至 令和3年9月30日	まで
調査名	松園線桜並木生育状況調査 （まちづくりチャレンジ協働事業）	
調査業者 及び現場担当	苫小牧市宮前町5丁目6-11 ツリーリンク	TEL 090-8398-3540 担当 黒崎 暁子
市担当者	建設部管理課	TEL 0123-33-3131 （内線2410） 長屋 幸博

本事業は「2021年度まちづくりチャレンジ協働事業」による支援制度を利用し、実施します。

調査中、お庭の木、花のご相談があればお声かけください。

また、ご不明な点がございましたら、上記担当者へ連絡ください。

